

コミュニティ・スクールと地域学校協働本部 ～学校運営の改善と地域づくり～

本市では、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働本部」を設置し、学校・家庭・地域が一層の連携・協働を図り、「子どもたちのよさや可能性を引き出し伸ばす教育」、「教育を核とした持続可能な地域社会の構築」につなげる活動に取り組んでいます。

コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域住民などの皆さんが責任をもって学校運営に参画する仕組みで、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律47条の5」で定められる学校運営協議会（合議制の機関）を設置した学校を指し、「地域とともにある学校づくり」を推進することを目的とした制度です。

本市では、本年4月現在6校で設置し、8年度末までに市内小中学校、義務教育学校すべてに設置することを予定しています。

学校運営協議会の導入による目指す姿

学校運営協議会は、教育委員会が任命した保護者、地域住民、校長、教職員などにより構成され、学校運営の基本方針の承認や、教育活動や教職員の任用についての意見を述べます。

①学校運営への参画

学校・家庭・地域が同じ目標やビジョンを共有し、参加するだけでなく、それぞれが当事者意識をもって子どもたちの教育に携わる参画の機運を高めます。

②組織的・持続的な体制の構築

校長や教員の異動があっても子どもたちに安定した教育の機会を提供できるよう、学校・家庭・地域との組織的・持続的な連携・協働体制を構築します。

③役割分担の確立

学校が教育活動に注力できるよう、学校運営協議会で学校・家庭・地域が担うべき役割や活動を整理します。

地域学校協働本部とは

本市では、これまでも、地域と学校の連携を図ってきました。見守り活動、父親の会、読書活動、学習活動、環境整備、キャリア教育など地域、保護者の皆さまの応援・支援に支えられて子どもたちは安心・安全で楽しい学校生活を送っています。

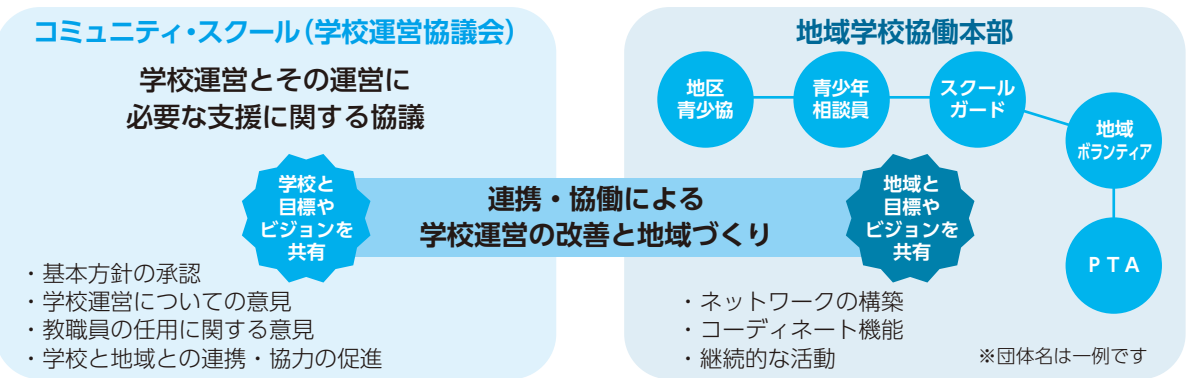
地域学校協働本部は、地域の人的・物的資源の活用や、学校教育と社会教育との連携により、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指しています。

学校を核として地域の大人と子どもが学び合い、地域コミュニティを活性化させるために、これまでの活動を大切に、地域と学校が同じ目標をもち、多様で、組織的な活動が継続されるよう発展させていきます。

コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的推進

本市のコミュニティ・スクールの特色は、下の図のように「学校運営協議会」と併せて「地域学校協働本部」を段階的に設置し、「両輪」として一体的に整備し取り組んでいくことです。

「学校運営協議会」でのビジョンの共有（方



向性)と「地域学校協働本部」の豊かな活動(推進力)を「連携・協働による学校運営の改善と地域づくり」という強固な軸でつなぐことにより、子どもたちの豊かな教育の実現を目指していきます。

参加者の声

大和田小学校学校運営協議会会長
杉山 晴康さんの話

6月21日に今年度2回目の「学校運営協議会」を開催しました。今回は、この7月から始まる「大和田小学校 長寿命化改修工事」について、教育総務課に工事の概要の説明をしていただきました。大和田中学校敷地内に仮校舎を設置することに伴い、通学路の安全確保、工事車両の導線、仮校舎の施設設備などについて子どもたちの安心・安全の確保のために、各委員個々の立場から教育委員会へ意見、感想、要望などを述べました。

高津・緑が丘地域学校協働本部
統括コーディネーター 佐々木 俊一さんの話

本協働本部は、高津・緑が丘地域内7つの小・中学校や地域の方々と協働し、子どもを中心とした安心・安全で温かみのあふれる地域づくりに貢献すべく、平成30年に設立しました。

今年も活動の一環として、地域内5つの小学校で夏休みを使って、高校生や大学生、地域ボランティアとの勉強会を行う「寺子屋」を開催しました。参加した児童からは、

- ・わからないことを、「わからない」と言っても安心。
 - ・寄り添って教えてくれる。たくさん話ができて楽しい。
 - ・掛け算九九を楽しく学習できて自信がついた。
- との声がありました。

この他にも「高津・緑が丘地域 防犯マップ」の配布や「防犯教室」、「学校内整備」、「地域イベントへの参加や協力」などを行っています。



▲寺子屋は、マンツーマンに近い形で学習しています

この特集のお問い合わせは、
生涯学習振興課 ☎481-0309へ

市議会第3回定例会は8月27日(火)に開会します

市議会第3回定例会は、8月27日(火)に開会する予定です。会議の日程などは、開会予定日の約1週間前に決定されます。請願・陳情は、開会日の午後5時までに受け付けたものが第3回定例会で協議されます。

■インターネット中継と会議録検索システム

本会議の様子は市ホームページで生中継するほか、スマートフォンでも視聴できます。会議の翌日(市の休日を除く)からは録画を見ることが出来ます。会議録は会議録検索システムをご利用ください。



会議録検索システム

インターネット中継

戦争体験記録集を販売しています

広報広聴課では「市民の戦争体験記録集・あの日から」を販売しています。内容は2部構成で、第一部「八千代・米本空襲」には、昭和20年に起きた米本空襲の記録や証言を、第二部「私の戦争体験」には一般公募した、市外での戦争体験記50編を収録し、1冊にまとめています。昭和62年発行、8000円です。詳しくは同課☎(421)6704へ。

(広報広聴課)

通所型短期集中予防サービスの利用者を募集します

最近、つまりさやすくなった、外に出るのが億劫になった人などを対象に、リハビリ専門職が運動機能などの改善・向上のプログラムを提案し、週1回(約2時間)、3か月間集中的に支援を行います。体を動かす習慣をつけ、好きなこと、やってみたいことを一緒に考え生活を支援します。

▼対象者 要支援1・2または事業対象者(65歳以上で基本チェックリストにより対象と判断された人) ▼募集人数 10人 ▼費用 無料 ▼実施時期 10月12月、週1回2時間程度、全12回。9回の通所と3回の訪問サービス ▼実施場所 市内介護老人保健施設(送迎あり) ▼申込先 電話でお住いの地区の地域包括支援センターへ

【勝田台】☎(481)3515、
【阿蘇・陸】☎(488)9525、【村上】☎(405)4177、
【八千代台】☎(406)5576、【高津・緑が丘】☎(489)4655、【大和田】☎(484)6611 (長寿支援課)

低所得世帯への10万円及びこども加算5万円 非課税世帯等重点支援給付金の申請期限は9月末まで

物価高騰の影響が大きい低所得世帯へ1世帯あたり10万円の給付金及びこども加算を支給しています。申請期限は9月末です。

▼対象 6年6月3日現在で八千代市に住民票があり、次の①・②に該当する世帯。いずれも「住民税が課税されている人から扶養されている人のみの世帯」「令和5年度住民税非課税